

2017 - 18年度 国際ロータリーのテーマ

『ロータリー：変化をもたらす』

RI会長 イアン H.S ライズリー

川崎北ロータリークラブ会長の方針

『クラブの原点は委員会活動!』

会長 大塚 正一



川崎北ロータリークラブ会報



会長 大塚 正一

幹事 帯谷 昌充

会報委員長 色摩 和恵

事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037

メール：knrc@nifty.com

URL：http://kawasaki-north-rc.blue.coocan.jp/

例会：毎週水曜日 12：30

二子玉川エクセルホテル東急

第2801例会 平成30年4月11日(水)

点 鐘

入来 武久 副会長

スマイル体操

石原 安 親睦委員

司会と斉唱

山川 哲史 会場監督

谷口 一成 ソングリーダー

「我等の生業」

出席報告

生垣 繁 出席委員

会員数 57名 出席 36名 欠席 21名

(対象外 5名) 出席率 69.23%

前々回訂正 欠席 25名 MAKE UP 10名

(対象外 7名) 訂正出席率 82.69%

欠席者

朝山君	星野君	花田君	平野君	石井君
小林(政)君	上山君	三浦君	溝渕君	峯岸君
茂木君	三平君	榎木君	妻鹿君	野口(哲)君
野口(隆)君	大部君	大塚君	重田君	関君
色摩君				

会長報告

入来 武久 副会長

地区大会ゴルフ委員会より、昨年10月16日に開催の「地区大会記念 九州北部集中豪雨支援チャリティゴルフ大会」の写真が届きました。当日ご参加の皆様へお渡しします。

幹事報告

帯谷 昌充 幹事

他クラブ例会臨時変更

- 川崎幸 RC
4月20日(金) 移動例会
会場：立川 防衛省航空装備研究所
5月4日(金) 休会
- 川崎マリーン RC
5月3日(木) 休会
5月17日(木) 川崎・川崎マリーン合同例会
会場：川崎日航ホテル 点鐘 12：30
- 川崎西 RC
5月4日(金)・6月29日(金) 休会

委員会報告

ゴルフ同好会 横山 芳春 幹事

4月6日(金)に6RC合同ゴルフコンペでは、入来 武久 会員が優勝しました。同日行われた第3回大塚会長杯の結果は次のとおりです。

1位、渡邊 敏久 会員

2位、宮崎 秀樹 会員

3位、入来 武久 会員

卓話

武田 信平 会員

「日本プロスポーツ大賞功労賞を受賞して」



日本プロスポーツ大賞は、公益財団法人日本プロスポーツ協会が制定する賞です。我が国のプロスポーツ界の健全な発展ならびに復興に寄与することを目的として、1968年(昭和43年)の第1回プロスポーツ大賞より毎年開催されています。当該年度1カ年にプロスポーツ界全般を通じ、国籍を問わず、あらゆる意味で、最も貢献度の大きい業績を残したと認められる選手および団体(チーム)に与えられます。

今回の受賞理由としては、2001年に川崎フロンターレ社長に私が就任してから2015年の退任まで長きに渡り、地域に根ざした市民クラブ作りに尽力、Jリーグが掲げる地域密着を体現した、行政、市民が一体となったクラブ作りが、今なお、多くのクラブの模範となっていることだと言われています。

2000年12月20日に社長就任したばかりの頃は、ヴェルディのように成績が悪くなったら川崎から出て行くんだろう、富士通から金を持ってきて強くすればいいじゃないか、強くなったら応援するよなどとよく言われました。駅前でチラシを配っても貰ってくれない、全くと言っていいほど知名度がなく、存在感がないのが現状でした。もちろん、行政にも応援の雰囲気ありませんでした。

お客さんは入らないし、応援者もいない、こんな状態でやっつけていけるのかと思いました。そこで、何のためにフロンターレを運営するのかをもう一度よく考えてみました。利益を出して本体に還元するため、子会社として本体社員の受け皿になるため、富士通グループ社員の士気高揚のため、どれも違うなあ思いました。企業スポーツの延長線上でいいのか、何のためのプロ化だったのか、Jリーグの理念に賛同したからJリーグに加盟したはず、そもそもその理念とは。色々考えました。

Jリーグの理念とは、100年構想の素晴らしいものです。地域に根ざしたスポーツクラブを核として、スポーツ文化の振興に取り組む、地域密着型。単なる興行ではなく「スポーツで、もっと、幸せな国へ」を目標にスポーツで地域に活力や喜びをもたらして貢献する社会貢献。つまり「地域密着」と「社会貢献」でもっと幸せな国を作ることであり、スポーツには

人々を幸せにする力と可能性があるのだということを信じてやってきました。

私が赴任した当時はまだまだ富士通色が強く、応援の中心は富士通社員で、観客動員にも限界がありました。当時の川崎市の人口は130万人、中原区だけでも10万人、地元に応援してもらうしか存続の道はないと考えました。そこでまず、地元に応援してもらうには地元へ根付くことだと感じました。そのための旗印はJリーグ100年構想、この旗印の下に地域密着を進める、それは同時に企業色を排除することを意味していました。

見えるところからはじめようということで、会社名から富士通を取り、社名を(株)川崎フロンターレに、富士通100%の子会社ではなく地元企業から資本を入れてもらうなど色々と富士通を説得するには大変でしたが、1年後にはエンブレムから「FUJITSU」の文字を取ることができました。これにはサポーターからも本気度が見えたと言ってもらえました。あとは、地域密着の活動を地道に広げて実績で示そうと思い、次に出資を募りました。

川崎市が出資してくれれば民間は出資しやすいと思い、当時の川崎市長、阿部市長にお願いをしました。しかし、結局、自治体は出資できる環境を整えてもらってからでないと出資は難しいといわれ、市内の業界団体をまわりました。市民クラブとして川崎の活性化に貢献したいので、出資をお願いしたいと説明してまわった結果、30数社が名乗り出てくれました。

川崎市民に誇りを持ってもらおう、スポーツで意識を変えていこう、これをフロンターレの役割と定めたのです。フロンターレが活躍するにつれ、誇りが持てるようになる、市民の関心をフロンターレに集中させて川崎に一体感をつくる、そのためには、フロンターレが川崎のシンボルとなり、地元へ貢献しなくてはならないと思いました。しかし、シンボルになるには、チームが強くなければならない、常に優勝争いに絡めるチームにならなくてはならないということで、まずは、J1に昇格、その間にしっかりした土台を作っていく。またチームは強いだけではなく、地域と連携して地元へ根付かないとファンは広がらないことも頭に入れての活動でした。試合は勝つときもあれば、負けるときもある、現に降格したときには入場者も半減しました。そこで大切なのは、勝っても負けても応援しようというマインドを浸透させていくことでした。その心が市民の連帯感を作り上げ、またこれを地域密着によって作り上げるように心がけました。地域に溶け込んでいき、おらが街のフロンターレと思ってもらえるように、「強いチーム」と「地域密着」の二本柱でクラブ作りを進めてきました。この2つの相互作用によって名実ともに川崎のシンボルとなり、地域により強い一体感と連帯感を作り出し誇りをもたらすようになってきたのではないかと思います。

最初は全く見向きもされませんでした。企業色を消して市民クラブとなり住民意識を変えることを役割として、Jリーグ100年構想をベースにやってきました。「強いチーム」と「地域密着」を柱にフロンターレがシンボルとなり、またシンボルが活躍することによって、川崎全体のイメージを変え、市民に誇りを持ってもらえたらなと仕掛け、活動してきました。

今回の功労賞は、社員、選手、チーム、そして応援してくれる方たちがあってのことです。私が代表して受けたというふうに思っています。これからも応援よろしく願っています。ありがとうございました。



ニコニコレポート 波木井輝昭 副会場監督

入来 武久 副会長、帯谷 昌充 幹事

武田会員、日本プロスポーツ大賞功労賞受賞おめでとうございます。本日の卓話、楽しみにしております。よろしく願いいたします。

戸川 俊雄 君

インフォームドミーティングの報告書を増強委員会まで出してください。

金子 房一 君、北村 善市 君

武田さん、卓話、楽しみです。よろしく願います。

宮崎 秀樹 君

北クラブのコンペで残念ながら準優勝でした。またもや、渡邊先生に阻止されました。武田さん、卓話、よろしく願います。

武田 信平 君

フロンターレは、先週4日にACL予選リーグ第5節を上海ジョウコウとアウェー上海で戦い、1対1で引き分けました。また、8日にJリーグ第6節、横浜Fマリノス戦をアウェー横浜で戦い、押し押しの試合展開でしたがコーナーキックから失点、1対1で引き分けてしまいました。通算成績は3勝2分1敗です。本日19時からJリーグ第7節、セレッソ大阪戦が等々力競技場にて行われます。

渡邊 敏久 君、入来 武久 君

渡邊会員：4月6日に行われた当クラブのコンペで優勝しました。入来会員：同日行われた6クラブ合同ゴルフコンペで優勝しました。

プログラム委員会：クルーズ 由美子 君、波木井輝昭 君、

松下 幸夫 君

武田さん、本日の卓話、とても楽しみにしておりました。新例会場での初卓話、よろしく願います。

小澤 秀昭 君、小泉 昌彦 君、横山 芳春 君、谷口 一成 君、

齊木 貴 君、小林 美和 君、石原 安 君

武田会員、日本プロスポーツ大賞功労賞受賞、おめでとうございます。本日の卓話、よろしく願います。